

視察調査・研修会等報告書

令和 5 年 7 月 24 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之 様

議員氏名(小川 亘



研修・視察年月日	令和5年 7 月 12 日～14 日
研修会場・視察先	① 佐賀県佐賀市役所 ② 福岡県福津市役所 ③ 福岡県福岡市役所
研修名・視察目的	① 空地活用 コンテナ広場を核としたまちづくりについて ② 新原・奴山古墳群と近隣自治体との協議会について ③ 地域包括ケア情報プラットフォームについて
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	① 経済部中心市街地振興室 藤田泰浩室長 ② 教育委員会 文化財課 世界遺産係 池ノ上宏係長 ③ 総務企画部 政策推進課 ICT 推進係 赤木寛係長
参加議員(同行者)	福田幸平 篠崎佳之 高橋栄 廣瀬武蔵 福田洋一 関良平
調査概要	① 空地の活用と街中の回遊性を図る社会実験として始めた。中心市街地活性化基本計画をベースにできる限り長く街を歩いてもらい、エリア価値の向上を目指す取組。 わいわいコンテナ1では街中の回遊での効果が得られず、商店街や近隣商店への仕掛けが不十分であったことを踏まえてわいわいコンテナ2へ場所を変えて、回遊性を高めることに成功している。また空地の有効活用にも寄与している。 ② 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会を世界遺産登録にむけ、官民一体で行うために、福岡県・宗像市・福津市で立ち上げた。 世界遺産登録後は、事業予算として約6100万円 福岡県 1/2 宗像市 3/8 福津市 1/8 遺産群保護・価値発信・文化資源活用事業等を行っている。福津市の新原・奴山古墳群は「津屋崎古墳群」の一部として指定されており、発掘調査と整備事業を進めている。

視察調査・研修会等報告書

	③ ビックデータを活用した 地域包括ケア情報プラットフォームを九州大学と福岡市の 福祉局 政策推進課で作成している。 (1) データ集約では、住まい・医療・介護・予防・生活支援の情報を集約 (2) 分析では、医療介護の分析、シュミレーション データをマッピング (3) 在宅連携支援システムでは、対象者の生活状況を関係者間でリアルタイムに共有 (4) 情報提供システムでは インフォーマルケアサービスなどの社会資源情報を地図と組み合わせて WEB 上で公開 上記のことを利用して医療介護者の情報のスピード供給、状況に応じたサービスの提供・家族の安心、在宅高齢者の困りごとの解消などに活用している。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	① 事業のなかで、チャレンジショップの取組で現存のお店や起業への支援として、期間を短くしたりして、出店しやすいようにしている。さらに、コミュニティー団体の活動の場として提供しているが、まちなかで回遊性を持たせているのも、おもしろい。しかも低予算である。 小山市でも、中心市街地活性化をもう一度取り組みたい。 ② 新原・奴山古墳群を利用して、街の PR も行っている。古墳群の古墳と古墳の間の旧畑地と史跡地外の水田を利用して、コスモスや菜の花を育て、誘客をしている。海の日を記念日として定め、夏休み期間を利用したの、イベントを行っている。小山市でも琵琶塚・摩利支天塚と寺野東遺跡などを活用して、文化の伝承もさらにやっていくべきと感じた。 ③ 2025年まであと2年だが、認知症高齢者の増加を見据えて、地域で生活を支えるために地域包括ケアシステムが重要となる。高齢化率が低い小山市でも重要課題の一つだが、他市の良いところは積極的に取り入れるべきと感じた。

視察調査・研修会等報告書

令和 5 年 8 月 24 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎 佳之 様

議員氏名(小川 亘)

研修・視察年月日	令和5年 7 月 31 日～8月 3 日
研修会場・視察先	① ② 愛媛県松山市役所 ③ 松山市立子規記念博物館 ④ ⑤ 愛媛県大洲市役所
研修名・視察目的	① 松山市議会における議会運営について ② 42年間の指導者人生 ③ 子規と漱石の友情 ④ 歴史的建造物の保全と利活用について ⑤ 持続可能なまちづくりについて
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	① 松山市議会議員 渡部克彦 ② 愛媛県立松山商業高等学校 硬式野球部顧問 澤田勝彦 ③ 子規記念博物館 総館長 竹田美喜 ④ 愛媛県大洲市 観光まちづくり課 宇高将志 ⑤ DMO キタマネジメント バリューマネジメント 横山真美子 (大洲市に出向中)
参加議員(同行者)	無し
調査概要	全国若手市議会議員の会 OB 会の視察研修に参加した。 ① 全国若手市議会議員の会 OB 会のメンバーである、渡部議長に松山市議会における議会運営について、説明を受けた。 ② 澤田勝彦監督が指導した、松山商業高校野球部 平成8年に夏の甲子園「奇跡のバックホーム」から27年、指導者として振り返りなどの話を聞いた。 ③ 正岡子規記念博物館において、夏目漱石と正岡子規の関係とともに、非常に著名で最近めったに講義をしない、竹田美喜 総館長から説明を受けた。

視察調査・研修会等報告書

	④ 大洲市では空襲にも合わなかったために歴史的建造物が多数現存しており、過去には東京ラブストーリーのロケ地であり、保全と利活用について、説明を受けた。又、大洲城と国指定重要文化財臥龍山荘の案内して頂いた ⑤ 「世界の持続可能な観光都市100選」に選ばれている。観光資源としての、目玉である日本で5つしかない木造復元天守がある大洲城では、城主体験の宿泊ができる。また観光資源をいかすために、指定管理者である、キタマネジメントから出向者を迎えて、街づくりに取り組んでいる。また分散型ホテル ニッポニアホテルの視察もさせて頂いた。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	① 議会運営など多岐にわたる説明の中で、過去に議員定数の改正において、様々な意見の中で段階的に減らしてきたが、意見の中で少数精鋭の議会を目指して、行財政改革にも貢献していくとの事が印象に残った。また松山市議会ではICT化が進んでいないのが、これからの課題と話されていた。他市の議会運営などの話を聞いて非常に参考になった。 ② 第105回の甲子園が開かれるまえのタイムリーなテーマ。当時は平成8年甲子園で9回に起きた奇跡を基に過去の映像をそえての講話。当時の松山商業高校の野球部での出来事を澤田監督と松山商業野球部出身で現松山市議会議員の白石勇二氏の解説付きで、臨場感がある説明。厳しい練習のなかで、繰り返し行った守備練習は土壇場で発揮できるものである。野球だけでなく政治の世界においても、日ごろの積み重ねだと、改めて考えさせられた。 ③ 松山や道後温泉の歴史や文化も含めて、東京高等学校から派遣された夏目漱石の生活などの説明、さらに松山市の文化振興の歴史など、さらに夏目漱石と正岡子規との友情なども歴史背景なども交えて、興味深い話でしたが、ストーリーがある偉人との歴史がうらやましい限りでした。小山市でも博物館の移転新築が計画されているがストーリー性が必要と感じた。

視察調査・研修会等報告書

	④ ⑤ 官民連携による歴史的資源を活用した観光まちづくりの取組について2日間で視察した。地域 DMO(地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔)キタマネジメントを軸に様々な取組をしている。主なものとして大洲城キャッスルステイとして1泊100万円で城主体験や明治から昭和初期に建てられた古民家をリノベーションして分散型のホテルを設置して、不特定多数をターゲットにするのではなく、国内外の富裕層向けのイベントなどを開催している。元来 国土交通省の制度をベースに始めており、コロナ禍においても一定の成果を上げているとの事である。小山市でも国が打ち出している新しい制度を積極的に活用すべきだと感じた。
--	--

視察調査・研修会等報告書

別添様式 5

令和 5 年 11 月 2 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎佳之 様

議員氏名(小川 亘



研修・視察年月日	令和 5 年 11 月 2 日
研修会場・視察先	埼玉県さいたま市 さいたま共済会館
研修名・視察目的	令和5年度 自治振興セミナー（埼玉県共催）
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	
参加議員(同行者)	福田幸平 議員
調査概要	① 『今こそ、地方自治体が地域公共交通を主体的に支えるべき時「おでかけウエルカム」な地域でないと生き残れない』 名古屋大学大学院環境学研究科教授 加藤 博和 ② 「デジタル時代における地方自治体のありかたについて」 サイボウズ株式会社代表取締役 青野 慶久 ③ 脱炭素社会に向けた地方自治体の取組について 芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科教授 青田 朋子
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	① 2006年の地域公共交通会議以降、地域公共交通が始まり鉄道・乗合バス・タクシーが整備され、地域公共交通において、近年は見直しが始まっている。病院等の必要な場所に向かうのではなく、人が集まるところに停留所を作らないと利用者がいなくなる。地域公共交通計画を策定している小山市では、様々な見直しをしてきたが、今後も柔軟に対応すべきである。 ② デジタル時代においては、自治体のシステム自体をどう構築していくかがカギとなる。自治体でもシステム開発ができる人材を必要として

視察調査・研修会等報告書

	おり、既存のシステムだけでなく、多様な処理ができるシステムが求められる。小山市で導入している、勘定系と情報系が分離しているシステムも見直しが必要なのでは。 ③ 脱炭素社会に向けての取組として、各個人や各家庭が省エネ家電などの買換えもできない日本においては、これからが重要で、各家庭でできる取組を自治体で支援するのが重要であり、小山市でも脱炭素政策を積極的に進めるべきと感じた。
--	--

視察調査・研修会等報告書

令和 5 年 12 月 12 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎 佳之 様

議員氏名(小川 亘)



研修・視察年月日	令和 5 年 11 月 15 日～11 月 17 日
研修会場・視察先	① 愛知県一宮市 I ビル ② 岐阜県大垣市 市役所 ③ 愛知県半田市 ビオぐるファクトリー
研修名・視察目的	① 尾張一宮駅前ビル I ビルについて ② 大垣公園における地域活性化拠点形成のための基盤整備検討調査 ③ 地域環境システムと脱炭素農業
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	① 活力創造部 指定管理課 田中寛幸課長補佐 伊藤奨主事 ② 都市計画部 公園緑課 辻紳一課長 今津丈俊主幹 ③ 株式会社ビオクラシックス半田 猪飼 幸輝 取締役事業本部長
参加議員(同行者)	福田幸平 関良平 篠崎佳之 高橋栄 廣瀬武蔵
調査概要	① 建替え前の旧駅ビルが老朽化して平成6年から JR に対して要望をしていたが、JR では建替えないとの回答を受け、アンケートを実施して9割の人々が建て替えを希望して、土地を JR から借りて平成16年度から『地域再生マネージャー事業』を活用しての事業化検討を開始して平成22年に着手 平成24年9月に完成した。 ② 令和 3 年8月に大垣公園の中心施設である築後70年経過し、老朽化した、大垣城ホールの内装リニューアルプロジェクトチームを設置した。現状の課題をあらいだして、それに伴う調査、また民間事業者が行うイベントや活動と併せて、民間の投資を含めて公園だけでなくエリアを整備する予定。 ③ 農水省の補助金を活用して、厨芥類(生ごみ)のリサイクル事業を民間での設置し活用した施設。焼却時に発生する熱を利用して、隣地でミニトマトの施設栽培をして販売もしている。

視察調査・研修会等報告書

市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	① 建替え後の駅前ビルは複合化されており、図書館も併設されており、小山市でも文化センターの移転の際には非常に参考になった。 ② 年間10万人の利用している市民会館(大垣ホール)が建替えられる小山市の文化センターの建て替え時には、エリアでの検討も必要と感じた ③ 民間の生ごみに特化したリサイクル施設は小山市にも必要と考えさせられた。小山市では部分的に し尿と生ごみを混ぜてリサイクルし『すくすく君』を製造しているが、全体のリサイクルを考えて時に、生ごみに特化した施設があれば、可燃ごみの減量化が図れるし、また現在使用している焼却炉の寿命も伸ばすことができる。
---	---

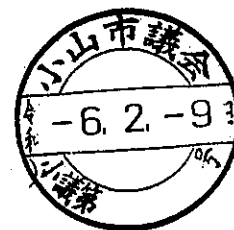
視察調査・研修会等報告書

令和 6 年 2 月 8 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎 佳之 様

議員氏名(小川 亘



研修・視察年月日	令和 6 年 1 月 12 ⁹ 日 ~ 14 ¹¹ 日
研修会場・視察先	① 鹿児島県霧島市役所 ② 鹿児島県鹿児島市立図書館 ③ 福岡県福岡市役所
研修名・視察目的	① 霧島市こども館について ② 天文館図書館について ③ LINE を活用した市民への広報について
対応者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	① 保健福祉部 子育て支援課 種子田真理子サブリーダー ② 市立図書館 小城裕子副館長 天文館図書館 松田裕子館長 ③ 市長室広報戦略室 広報課 深澤宏子課長
参加議員(同行者)	福田幸平 篠崎佳之 高橋栄 廣瀬武蔵 福田洋一 関良平
調査概要	① 国分ハイテク展望台を改装して有効活用して、子育て環境の充実や遊びの体験を通じて幼児期における基礎体力の向上、並びに発想力、想像力の育成し、こどもの健全な成長を図ることを目的に設置。 運営に関しては、現在業務委託で、令和9年度から指定管理制度を導入予定。 施設の運営等を小山市のキッズランドも参考にしていた。 ② 複合商業ビル『センテラス天文館』の床を買い上げて、鹿児島市立天文館図書館を開館した。特徴としては商業施設の店舗の中にテナントとして入居している感じで、騒がなければ普通に会話もできるスペースとなっている。また蔵書管理については、京セラコミュニケーションシステムの『shelf eye』を導入しておりセルフ貸し出しを簡素化していた。 ③ LINE を利用した市民への広報については、LINE での One to One 配信をするサービスで、市民一人一人が必要な情報 防災(緊急情報・PM2.5・雨量・気象情報) ごみの日(燃えるゴミ・燃えないゴミ) 子育て(予防接種など)

視察調査・研修会等報告書

	だけをタイムリーに配信されるサービスで 問い合わせに関しては AI チャットボットが回答している
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	① 展望台施設の再利用を含めて、発想の転換をして子育て施設にしているが、素晴らしい眺望の中子育て世帯だけでなく、様々な方が集える施設を目指している。小山市でも公共施設の活用に活かされればと感じた。 ② 会話や飲食もできる図書館で年中無休で開館している、最新型の図書館であり、年中無休にも対応できる蔵書システムを採用していたが、小山市でも駅付近の文化センター併設の複合施設に図書館を整備するのであれば、年中無休の図書館は利用者にとって便利なものになると思う。 ③ 小山市でもLINEを利用して市民へ情報を提供している、おーバスなどの情報や新型コロナワクチン接種申し込みなどの利用には便利だが、必要としない情報がプッシュ通知で送られてくると、煩わしく感じるものであり、必要な情報のみ通知されるのは、とても便利であり、小山市でも導入すべきである。低コストも魅力。

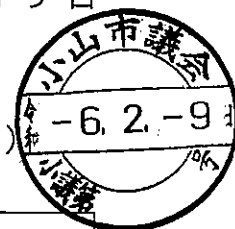
視察調査・研修会等報告書

令和 6 年 2 月 9 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎 佳之 様

議員氏名(小川 亘)



研修・視察年月日	令和 6 年 2 月 4 日～6 日
研修会場・視察先	① リファレンス大阪第4ビル 23 階 ② 京都 JA ビル
研修名・視察目的	① 地方議員研究会『現場から見る家庭教育支援』山下真理子講師 ② 廣瀬行政研究所『自治体の防災減災マネジメント』鍵屋一講師
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	
参加議員(同行者)	なし
調査概要	① 少子高齢社会を迎えて家庭教育が求められており、家庭教育を支える支援の必要性。こども家庭庁設立における『こどもまんなか社会』を目指す。また不登校予防はひきこもり予防について研修を受けた。 ② 防災減災マネジメントについて、元板橋区危機管理担当部長から研修を受けた。過去の東日本大震災、さらに昔の日本海中部地震での津波での被害を踏まえて、事例を交えての防災対策の在り方などの研修を受けた。能登半島地震の発生により、受講者が増えたことにより研修会場が変更された。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	① 経済的な負担のみならず、親の介護やこどもの障がい、不登校など保護者が子育てに対する悩みを抱え込む中で、自治体の支援体制が重要で、家庭教育についての支援のスピードが変わってくる。小山市においても、子育て全般における支援については、今後もスピード感をもって、体制を整備しつづけるべき。 ② 12月に受講申込をしたが、1月に能登半島地震が起き、自然災害への防災・減災意識がさらに高まった。近年起きている自然災害に対して、全国各地での防災意識が高まっているが、防災教育をはじめ、観光地での防災、避難告知(和倉温泉・加賀屋)など進んでき

視察調査・研修会等報告書

	ている。しかし現在の避難の仕方や避難所の開設も含めて、健康な人や若者向けであり、高齢者や老人施設入所者の避難対応などの問題は小山市でも必要であり、今後3年間に実施される介護サービス事業者 BCP 作成にも注目していきたい。
--	--